

医薬品の主作用・副作用とは！？

*おくすりナビ　2016年　５月号*

**…**医薬品を使用する本来の目的である、**病気のや**

**健康をつ働き**のこと。

（熱が下がった、せきが止まった、など）

この主作用が、私たちの体が持っているを助けてくれます。

**…**本来の目的以外の**好ましくない働き**のこと。

（医薬品を使用したことで、眠くなったり、体にぶつぶつができたりする、など）

＜副作用が起こる主な原因＞

**●医薬品を使う人の体質によるもの　●医薬品を使った人のその時の体調によるもの**

**●医薬品がもっている性質によるもの　●医薬品の使い方によるもの**

＜副作用の危険をけるために＞

●医師・薬剤師などに伝える

病院をした時、薬局やドラッグストアで一般用医薬品を購入しようとする時は、医師や薬剤師などに

**自分の病状や体質(アレルギーなど)、副作用の経験、のんでいる医薬品などの情報**を

しっかり伝えましょう。

●自分の薬を知る

自分がのむ医薬品について、のみ方（のむ回数、のむ時間、のむ量）、効果、予想される

副作用やその対処法、一緒にのんではいけない医薬品や飲食物などを事前にしっかり

確認しましょう。

●・を必ず守る

「早く治したいからもう１錠」などの**自己判断は絶対にしてはいけません！**また、他の人が病院でもらった医薬品を使うこと（使いまわし）はもってのほか、症状が似ているからといって以前もらった医薬品を使うこと（再使用）もしてはいけません。

医薬品の説明書をきちんと読もう！

薬局や病院で医薬品を受け取る場合は説明書（といいます）が渡されます。薬局や

ドラッグストアで買った医薬品の箱の中には説明書（といいます）が入っています。

皆さんは医薬品の説明書をきちんと読みますか？　説明書には、医薬品をのむ回数、のむ時間、

のむ量、効果、副作用、そのほかに注意することなど、大切なことがたくさん書かれています!

薬を使う前に必ず目を通し、使い終わるまで薬と一緒に保管しておきましょう！

作成・発行元